

# 古着伝言板

2002年12月19日

## ファイバーリサイクル・ネットワーク

〒222-0017 横浜市南区宿町2-40 大和ビル101

Tel: 045-710-6507 Fax: 710-6508

<http://jimfiber.hoops.livedoor.com/> <mailto:jimfiber@livedoor.com>

事務所オープン: 月~金 11:00~16:00



FRN

### 第15回「神奈川地域社会事業賞」受賞(神奈川新聞社)

—神奈川県消費者団体連絡会推薦による—

ファイバーリサイクルネットワークが10年の節目に、神奈川新聞社の「神奈川地域社会事業賞」を頂くことができました。循環型社会構築に向けて、たゆまず、地道に活動してきたことが報いられたのです。この賞には、46団体が自薦・他薦で応募しました。ファイバーリサイクルネットワークは、神奈川県消費者団体連絡会、通称「神奈川消団連」が推薦して下さいました。神奈川消団連では、他にもう1団体の推薦をしたのですが、当会が受賞の対象として選ばれました。(受賞は5団体 奨励賞2団体)

神奈川県消費者団体連絡会との繋がりには、「横浜市消費者の会」の服部孝子が「神奈川消団連」の幹事として長年、活動していることによります。本来なら、ファイバーリサイクルネットワークもこの団体の会員となるべきなのですが、横浜市消費者の会の繋がりでお世話になっているのです。何年かまえの神奈川県の「地球環境賞」もやはりこの神奈川県消費者団体連絡会の推薦によるものでした。私達の、環境を守る活動も多くの団体や人との繋がりの中で成り立っていることを、深く感じさせられました。

表彰式は11月23日(土)の勤労感謝の日にヨコハマベイシェラントンホテル&タワーズで行われました。最初は大勢で出席してその中で表彰されるものと思っていたのですが、出席は5人厳守でした。いろいろと調整の結果、赤岡、志沢両副代表、根元再生活担当役員、竹内事務局担当それに服部の5人が出席しました。選考委員は「リサイクルきものフェア」の会場としている、かながわ県民活動サポートセンターの引地孝一所長やフォーラムまつりでフリーマーケットなどに参加している、横浜女性協会の藤井紀代子理事長などでここでも「繋がり」の深さを思わされました。

この「賞」を頂いたことを社会の大きな評価として受け止め、新しい活動の発掘を試みながら、飛翔したいと思います。そのためには、皆様の知恵と力を結集することが大切なのです。ご一緒に頑張りましょう。

代表 服部 孝子

エコロジー管の会 渡辺佳織

今回、初めて「全国消費者フォーラム」に参加させていただき、全国各地でいろいろな活動を通して、リサイクル社会の実現を考えている方が大勢いることを知り、心強く感じました。

午前の部の基調講演は「安全・安心の消費社会とルールづくり」と題して、日本の食の現状(極端に低い自給率、大量に食料を輸入しながら大量の食品廃棄物を排出しつづけている)と、今後の日本の食と農のあり方、スローフードの意義などの話でした。「スローフード」の考え方は「ゆっくりと地域の食材をかみしめて本来の食事を楽しみませんか」というものです。考えてみれば、食材に“旬”がなくなり、スーパーの店頭には一年中同じ物が並び、全国各地(世界各地?)の物が手に入るのは、実は“当たり前”のことではないのです。季節外に出荷したり遠方から運ぶと、経費もさることながら環境にも負荷をかけていることを、消費者は意識しなければならないと思いました。

午後の部は、6つの分科会に分かれ各テーマに沿った実践活動の報告などが行われました。私達は、第4分科会「循環型(リサイクル)社会の実現に向けて」に参加しました。

- ①環境家計簿記帳から見えるもの(愛媛県)
- ②ごみ減量化への取り組み(栃木県)
- ③衣類から見た環境問題(神奈川県)
- ④立川フリーマーケット村の取り組み(東京都)
- ⑤飲料自販機の節度ある設置(神奈川県)
- ⑥家電製品の修理と廃棄(東京都)
- ⑦家庭で廃棄される食品(埼玉県)
- ⑧学校給食調理残さ53校全量再利用(新潟県)



以上8団体の活動報告があり、内容が盛りだくさんで質疑応答が時間に追われたことが残念でしたが、“リサイクル”と一口に言ってもいろいろな切り口で活動していることが解りました。

ファイバーリサイクルネットワークでは、事務局の竹内さんと副代表の赤岡さん(回収担当)志沢さん(再生活用担当)の3名が、FRNを設立した経緯や現状などをそれぞれの立場から発表しました。発表を聞いて、回収を始めた頃には7t近く集まり積み込むのに苦労したのを思い出しました。現在は冬物の回収ができないため3tがやっとで、楽にはなりませんがゴミ集積所に衣類が出されているのかと考えてしまいます。

リサイクル社会の実現には、それぞれの活動が少しでも長く継続していくことで近づけるのではないかと思います。私達がいろいろな場所で声をあげることが、社会のルール作りには必要だということを改めて感じました。

第15回神奈川地域社会事業賞  
奉仕に生きて

「お近くの回収拠点の次の回収日です。今、お調べします」。横浜市内にあり、市民団体「ファイバーリサイクルネットワーク」

の事務局、衣類をリサイクルしたい人からの問い合わせが、次々と入る。回収拠点は、横浜市内、

回収した衣類は主に三つの方法でリサイクルされる。東南アジア向けの中古衣料として、あるいは工場

へ送られ、先月末にも開催した。事務局に古着として送られてきた約五千点の衣類が、インターネットのホームページを通じて思いを大事にしようと、メンバーが返事を待つ。

「衣類はリサイクルできるとは思いません。捨てたい」と、という気持ちからスタートしました。ここまでやってこれたのは、皆、

●2  
ここでファイバーリサイクルが広まった地域は、インターネットのホームページを通じて思いを大事にしようと、メンバーが返事を待つ。この状況は、開発途上国の障害児や農村の女性自立支援、国内外の被災地支援に回している。

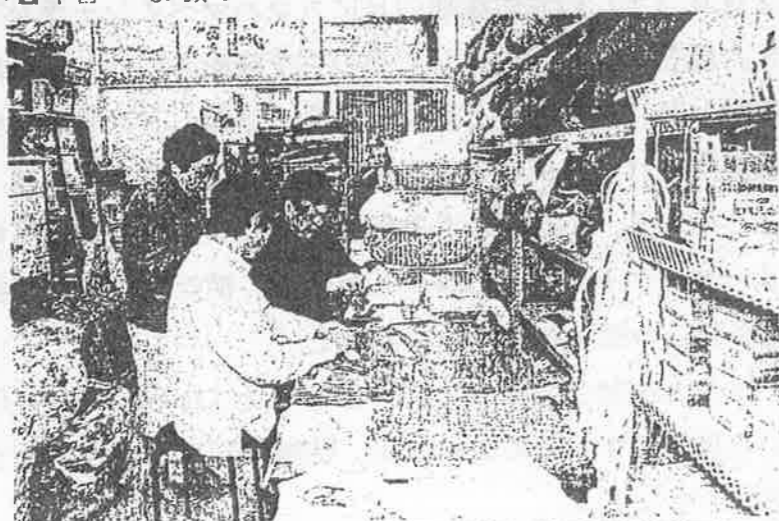
「布が好きだから。きものフエアのために、着物の知識を学ぶ勉強会も開いています。」

ファイバーリサイクルネットワーク

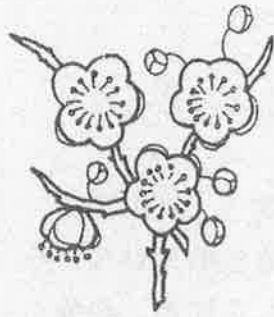
「皆、布が好きだから」

川崎市北部、横浜、茅ヶ崎、海老名など県内約三百カ所に広まった。個人宅や学校や地区センター、企業・団体の店頭など。県内のリサイクル事業者十四社と協力し、回収からリサイクルまで、自分たちの手でルート構築して、始められた「リサイクルきものフェア」。年に二回開

事務局に届く着物は、送る人の思いがこめられた手紙が添えられていること。【メモ】1999年6月の予定。ファイバーリサイクルネットワーク事務局 045(710)6007。ホームページはhttp://fiberinfoseek.livedoor.com/



県内外から送られてくる着物を仕分けしたり、管理するメンバー。すべてが市民の手によって行われている。横浜市内のファイバーリサイクルネットワーク事務局



会場設営担当 井上双美

「きものフェア」を初めて手伝ったとき(2000年秋)聞いてはいましたが、シートに座って売るといのは大変でした。一日中座って売ると、しゃがんで買う人、ごった返す会場にいと、埃と「押さないでくださいーい」と言い続けた声で喉はガラガラ、足腰も痛く、終わりの頃にはイライラ気分になっていました。

反省会で「ハンガーラックを借りて着物を吊るして売るのはどうでしょう」と提案したのがきっかけで、次からは「設営係」となっていました。手伝う人には気分よく、買う人には選び易く、また“フェア”というからには楽しい要素も大事。そして何より「またお手伝いします」という感想をお手伝いの方に書いていただければ幸い(委員長の願い)と思っています。

毎回、企画も変わります。大きくは会場の使い方です。半分に仕切って、和服地を使った小物や袋物、洋服などを創作し販売するグループの出店がありましたが、それを2001年秋よりひとまずやめ、着物、帯、端布の販売とさき布ぞうり作りという形になったことです。

広くなりました。ハンガーラックの数も増え今回は32本を使用。約900枚程の着物が並びました。帯はワゴンで売ります。まだ一部、座売りの場所もありましたが、通路も広くとれ働き易くなったと思います。また、会計の部屋に押し込んでいたストック品も会場内に納めたので、台車を人込みの中で押すことも無く楽になりました。

マネキン・ボディを使って飾ると、遠くからでも目立ちます。着せつけると帯とのコーディネートもわかり素敵に見えます。表示も大切です。今回は会場案内図を大きく紙に描き入り口に張り出しました。会場係への質問が減ったと好評でした。

この会場の主な使用目的は絵画・写真・造形作品などの展覧会です。そのため壁際が明るく、中心がちょっと暗いのです。皆さんから柄や色が分かりにくいと言われるのです。でも壁際にラックを並べたとき、その後ろに入り商品の選り分け場所に使い、要らない物をポイと置き去りにして行くという困り者がいたのです。盗難も心配です。死角を作らないようにと、毎回レイアウトを決める時は論議が絶えません。

休み場所も欲しい、リメイク品の作り方を教えてくれるコーナーを作って？着物談義でもゆっくりできる場所をつくったら？と提案はあるのです。がしかし狭い場所が許してくれません。参加する皆さんが楽しい一日を過ごせるよう、少しずつでも前回と違う目新しい事柄を取り入れてみようと思いつつやっています。

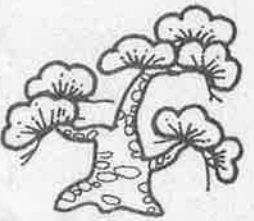
座売りコーナー担当 山本多美子

今回の座売りコーナーは、華やかな打掛けを背にした場所で、大店の店先にでもいるような気分になりました。品物はたくさんあったのですが、絹100%を求められる方が多く、現実は何屋でもなければ、呉服屋でもありませんから、なかなか要求には応えられませんでした。

昔から和服は座売りが普通です。私は長時間座ることが苦手なのですが、お客様と顔を合わせながら品物を探してあげる時間が殆どなので、足のことなど考える暇もなく過ぎてしまいました。

打掛けも数枚売れました。どなたが、どのように使用されるのかと気になったのは時間が過ぎてからでした。

お客様との会話もたくさんできました。次回のときに、またお会いしましょう〜と、お一人お一人に言うことはできませんでしたが、私なりに楽しく働いた一日でした。



## 「帯」のコーナーより

堀 太陽子

今年の秋も沢山の方たちが「きものフェア」に足を運んで下さいました。

帯のコーナーでは、回を追う毎に顔なじみの方も増え、「このきものに合う帯を選んで」、「お茶席には、どんなのがいいかしら」等の相談を受けます。お奨めした帯が気に入って頂いた時の充実感疲れを癒してくれます。

素材や織りの種類など一層知識を広め、多様な要望に応えられるよう売手として研鑽したいと思います。

昔から「きもの一枚に帯三本」と言われるように、帯合せによっておしゃれの幅がグーンと広がります。モダンに、シックに、あるいは華やかに。また、きものを着慣れた方は、帯ほど面白い存在はないといえます。

会場では、遊び心を上手に取り入れた帯をお召しになっている方もお見かけしますし、帯が後ろ姿の表情を作るポイントにもなっています。

帯として利用される以外にも、袋物やテーブルセンター等にリメイクしたり、また薄手の帯地を掛軸などの表装に利用される方もいます。

服飾デザイナーの水野和子さんが、「美しいものは捨てられない、私たちが育った時代は、物のない、物を大切に丁寧に扱う時代でしたから」と書いておられましたが、数多くの衣服とかかわってこられた方の言葉には説得力があります。今は物の豊かな時代になりましたが、タンスの奥底に仕舞われたままの布たちに、もう一度命を吹き込む事ができるのはとても嬉しいことです。

日頃、皆さんが地区の回収でお世話になっている、綿'S倶楽部の方々です。回収のお忙しい時間に手を止めて、「ひとことインタビュー」にご協力いただきました。

## 《綿'S倶楽部 ひとことインタビュー》 シリーズ(1)

- 質問 Q1. 業者さんのお名前  
 Q2. 今のお仕事に就かれて何年くらい?  
 Q3. FRNと関わって良かったこと、悪かったことは?  
 Q4. 今、困っていることは?  
 Q5. 大切にしている事(物)は?  
 Q6. ご趣味は?

- A1. 大橋弘隆さん(大橋商店)  
 A2. 35年  
 A3. 今は景気も悪いので大変だが頑張っていると思う。悪かった事はない。  
 A4. 荷が少ないこと  
 A5. 信用  
 A6. 読書



- A1. 曾根恒雄さん(東湧商会)  
 A2. 50年  
 A3. 10年、この仕事をしているがお金にならない。捨てる方が多くて困るよ。  
 A4. その代金も横浜市は産廃としてお金を取るから…  
 A6. 囲碁

- A1. 藤沼商店  
 A2. 35年  
 A3. 荷が決まった所にある(良いこと)  
 雨の日が困る(悪いこと)  
 A4. 全体に安くて売れない物が多い  
 A5. お金  
 A6. 働くこと(不景気で趣味どころでない)



## 【活動記録 9月～12月】

- ・10/12(土) 「リサイクルフェスタよこはま2002」(パシフィコよこはま展示ホール)  
 13(日) 展示ブースでのFRNの活動紹介(パネル展示、軍手編み機実演、リテックス品販売)とフリーマーケットに参加
- ・10/20(日) 「フォーラムまつり」(戸塚女性フォーラム)  
 戸塚地区連の協力でフリーマーケットに参加
- ・10/31(木) 「秋のリサイクルきものフェア」(かながわ県民センター)  
 来場者 870名 (巨人優勝セールと重なって、ちょっと少なめ?)
- ・11/21(木) 「和服のリメイク講習会&もみじフェア」(FRN事務所)  
 講習会: 参加者 11名 講師: 渡部かずえさん  
 フェア: 参加者 67名
- ・11/23(祝) 神奈川新聞社「第15回神奈川地域社会事業賞」表彰式(横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ) 役員など5名が出席
- ・12/2(月) 「全国消費者フォーラム」(アルカディア市ヶ谷私学会館)  
 第四分科会「循環型社会の実現に向けて」で竹内さん、赤岡さん、志沢さんの3名が、FRNの活動について発表
- ・12/11(水) 「和服のリメイク講習会&さざんかフェア」(FRN事務所)  
 講習会: 参加者 14名 講師: 大木麗子さん  
 フェア: 参加者 44名



※講習会に参加された皆さんは、とても楽しかったと大好評でした。

### 【地区連絡会の活動報告】

#### 茅ヶ崎地区

- ・10/9(水) ナカノ秦野工場見学
- ・11/3(日) 「市民ふれあいまつり」に参加 FRNの活動を紹介(軍手、ダスター、の販売。さき布ぞうりパフォーマンスと販売)
- ・11/16(土) 市の「環境フェア」に参加(リテックス品とさき布ぞうりの展示)
- ・12/6(金) さき布ぞうり講習会(「コープかながわ」より依頼)
- ・12/11(水) ナカノ金沢工場見学(地区連の内部研修)

#### 神奈川地区

- ・10/12(土) リサイクルの話と和布の小物作り

#### 南地区

- ・10/20(日) 南区役所主催の「いきいきふれあい南なんデー」に参加  
 FRNの活動をアピール

- ・11/30(日) 生活クラブ生協の「クラブdeバザー」に参加 FRNをアピール

#### 川崎・菅地区 (エコロジー菅の会)

- ・10/26(土)27(日) コープ菅店の20周年のイベントで「冬物リサイクルバザー」

#### 瀬谷地区

- ・毎月第三金曜日「リユースデー」
- ・11/8(金) ナカノ秦野工場見学

《FRN報告会のお知らせ》 2003年3月29日(土)

地区の皆さんにも大勢出席していただいて、FRNの活動について語り合  
ましょう。

[本の紹介]

地球を汚さないシリーズ2

「捨てない主義で「布」生活」 八田尚子+自然食通信編集部編

「秋のリサイクルきものフェア」の会場でも紹介しましたが、

“布”を最後まで使い切る、ちょっとしたアイデア満載!

FRNの「きものフェア」や、回収された古着の行方についても  
取材して、記事が掲載されています。是非、ご一読を。

[編集後記]

12月も半ばを過ぎたというのに、古着伝言板とFRN10周年記念誌の編集を抱えて、  
わが家は普段にも増して散らかり放題。おまけに回収日が来ても、人様の家の押し入れ  
の片付けには貢献できても、自分の家は手が回らず、ちっとも広くならないばかりか、  
リサイクルショップに運ぶ冬物衣料で足の踏み場も無くなる始末…。家族の冷たい視線  
を気にしつつも、チラシを950枚撒くと1t集まる古着の回収を、ほうり出す訳にはい  
かないのです! 皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。(Y.S)



市民展示期間

2月25日(火)~3月3日(月) 11:00~16:00 市民イベント

ただし 初日は 12:00 から

27日(木)は休館日

最終日は 15:00迄

講習会 「布ですておんなの花の2回作り」

開催日 2月26日(水) 受付 11:00~14:30

参加費 300円

材料費 実費(500円)

内容

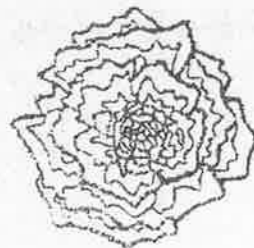
- \* オリジナルエコバックのリメイク作品展
- \* 打掛の展示
- \* 和服のリメイク作品の展示
- \* 再生繊維の軍手、拭き布の紹介
- \* ファイバーリサイクルネットワークの活動がらみ展示

開催場所

ランドマークタワー13階

フォーラムよこはま 交流ラウンジ

花も咲かせてみませれガ。



◎交通のご案内  
JR・横浜南地下鉄・東急東横線  
桜木町駅下車 徒歩7分  
◎フォーラムへお越しの際は、電車・バスを  
ご利用下さい。  
フォーラムよこはま交流ラウンジ  
TEL 045-224-2006

